

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月28日

事業所名 仙台市袋原たんぽぽホーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		コロナ感染予防のためソーシャルディスタンスに配慮した。	行事などでは、今後も感染防止のためスペースを広く取れるように工夫したい。
	②	職員の配置数は適切である	○		職員数は定員を満たしている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動ごと場所を分ける、全体の流れや作業の手順、活動の開始や終了等を視覚化する等、発達段階に応じて見てわかる工夫に努めている。また、保護者とも意図を共有している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防のためこまめに清掃・消毒を実施してきた。</li> <li>・換気やゴミ箱の中身をこまめに捨てる等も実施した。</li> <li>・空気清浄器を設置し、清潔な環境づくりをした。</li> <li>・子どもの人数や状況に合わせ活動スペースを区切る等の工夫をし、余計な装飾をせず、活動に必要な物だけを提示するようにした。</li> </ul>	引き続き、清掃と消毒の徹底を行い換気を行っていく。
業務改善	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表の内容を職員全体で確認し、改善点について話し合いをして療育内容の改善につなげている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		園内では、職員の要望を基に研修計画をたて、職員が交代で講師をしながら個々のスキルアップに努めている。（面談技法・ペアレントトレーニング・ペアレントプログラム・子どもの発達等）園外ではコロナ禍であったが、リモートなどで多くの研修に積極的に参加し知識の向上に努めた。	研修の機会を多く設けていたが、更に日々の中で対応に迷うケースについて職員間でケース検討を進めていきたい。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		個々の特性や成長の具合を把握し、職員間でしっかり話し合いをしながらアセスメントを行い支援計画を作成し、保護者の思いを確認しながら面談を行った。	

⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		子ども達が取り組みやすいような具体的な計画を設定し、保護者にも実施することがわかりやすく提示されている。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		クラス活動、個別活動の中で目標に合わせた支援を取り入れている。	日々の反省時に、より丁寧に確認し、保護者とも日々のやり取りで意識的に共有していく。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ルーティン活動は、あえて固定化しその他は子どもに応じて興味、関心が持てるようなプログラム・季節に合わせた行事等を毎回工夫して実施している。コロナ禍でも子供たちが安全に行事を楽しめるよう、日程・人数配置などの工夫をした。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団活動の他、個々に合わせた個別のプログラムを提供している	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝全体で確認し、クラスの打ち合わせをさらに実施している。時間差で出勤する職員にも伝達するため、打ち合わせノートを活用している。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		活動終了後に全体の反省で他クラスの状況も把握している。クラスの反省では、利用者の様子を共有しより良い対応について確認している。	時間がかかることがあるため効率的に反省を行う工夫が必要である。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録を行い、支援計画作成時に記入内容を振り返っている。また、支援計画に沿って記録を取っている。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		クラス担任全員で支援計画のモニタリングの話し合いを行い、より子どもの状態に合った支援計画の作成を行っている。	
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	○	該当者なし	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		例年地域相談員が子育て支援センターや保健センター、児童館等に定期的に訪問を行っている。	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		医療機関からの情報を保護者から聞き取りを行ったり、保護者からの希望に応じ発達検査の結果などを関係機関に伝えるなど連携している。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		医療機関からの情報を保護者から聞き取りを行ったり、保護者からの希望に応じ発達検査の結果などを関係機関に伝えるなど連携している。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援シートを用いて訪問して引継ぎを行っている。また、入園後に訪問を実施している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	該当者なし	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		市連協議等で情報交換をしたり、合同研修をしたりしている。またセンター同士で交換研修(見学)も行っている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		個別面談の機会や、療育活動中に意識的に保護者と話す機会を作り共通理解に努めている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		入園時に説明会で説明し、園内に規定を貼りだしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		面談日に保護者と話し合いを持ち、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談や個別活動の時間、普段の療育活動の時間に相談に応じている。また、連絡ノートを活用し保護者の思いをくみ取り、迅速に応えられるようにしてきた。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		要望には出来る限り迅速に対応している。また保護者の様子を気にかけて意識的に声をかけている。兄弟児預かり、緊急一時預かりにも応じている。	

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に関わるものは施錠できるところに保管している。	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナの影響で行事・会議は中止となったものもあるが、地域の機関への訪問を地域相談員が行い、地域機関との研修も実施した。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		月1回火災、水防、地震、防犯に対応した訓練を実施し各マニュアルの確認も実施している。感染症対策は看護師の指導の下職員研修を行い、また、外部講師を招き、感染症・防犯・防災の研修を受けた。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月1回、避難訓練を実施している。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		入園前に健康管理カードに記入してもらい、職員が把握している。	
	④④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修において、対応方法を確認している。	

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。